

第3回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会

日時：令和5年12月19日（火）
18時～19時30分
会場：長野合同庁舎5階会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 会議事項

(1) 第2回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ

(2) 再編対象校の学校紹介

①長野西高等学校通信制・長野西高等学校望月サテライト校

②長野商業高校定時制

(3) 学校像等に係る意見交換（グループワーク）

テーマ：長野東スーパーフレックス新校に取り入れたらよいと思うこと

4 その他

次回の予定

（日 時） 令和6年2月5日（月）18時～19時30分

（場 所） 未定

（内 容） 再編対象校の学校紹介および意見交換（グループワーク）

5 閉 会

長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

(敬称略)

	区分	氏名	所属等	役職等
1	自治体	西澤 雅樹	長野市	副市長
2		丸山 陽一	長野市教育委員会	教育長
3	産業界	塚田 まゆり	長野商工会議所	副会頭
4	学識経験者	茅野 理恵	信州大学学術研究院教育学系心理支援教育グループ	准教授
5		小林 勝彦	長野県専修学校各種学校連合会	理事長
6	地域	尾島 信久	長野地域振興局	局長
7		堀江 三定	長野市スポーツ協会	理事長
8		伊藤 羊子	一般財団法人長野県文化振興事業団 芸術文化推進室	室長
9		戸井田 由奈	特定非営利活動法人長野県NPOセンター	コーディネーター
10	同窓会 振興会	西澤 敏	長野東高等学校同窓会	会長
11		和田 安雄	長野吉田高等学校戸隠分校同窓会	会長
12		鷲澤 幸一	長野高等学校定時制振興会	会長
13		塚田 篤雄	長野商業高等学校定時制振興会	会長
14		岡 正子	長野西高等学校通信制振興会	会長
15	PTA	宮下 匡弘	長野東高校PTA	会長
16		小林 優	長野市PTA連合会(小学校)	副会長
17		江口 康人	長野市PTA連合会(中学校)	副会長
18	小中学校等 関係者	小池 勲	長野市小学校長会(長水地区小学校長会)	幹事長
19		横澤 秀信	長野市中学校長会(長水地区中学校長会)	会長
20		藤澤 里美	長野養護学校	校長
21		平林 洋一	県立高等学校長会定通部会長(松本筑摩高等学校校長)	会長
22	再編対象校	宮崎 真以星	長野東高等学校	生徒会長
23		桑原 俊樹		校長
24		柳澤 秀樹		教諭
25		町田 夢	長野吉田高等学校戸隠分校	生徒会長
26		倉島 在音		副会長
27		内藤 信一		校長
28		丸山 淳一		教諭
29		小出 淳	長野高等学校定時制	生徒代表
30		廣田 昌彦		校長
31		山本 俊介		教諭
32		中澤 由希	長野商業高等学校定時制	生徒会長
33		宮澤 美咲		生徒会副会長
34		三澤 秀樹		校長
35		寺嶋 龍也		教諭
36		奥山 敬斗	長野西高等学校通信制	生徒代表
37		小金 典子		校長
38	野村 浩史	教諭		

【事務局】

学校名	氏名(役職等)
長野東高校	(教頭) 峯村 勲 (教諭) 柳澤 秀樹・伊藤 宏文・栗原 聡・齋藤 正善
長野吉田高等学校戸隠分校	(教頭) 小林 昌明 (教諭) 丸山 淳一
長野高等学校 定時制	(教頭) 功刀 裕 (教諭) 北島 匡晃・山本 俊介
長野商業高等学校 定時制	(教頭) 塩入 孝一 (教諭) 寺嶋 龍也
長野西高等学校 通信制	(教頭) 青木 裕士 (教諭) 傳田 伊史・野村 浩史

	氏名	所属等	役職等
県教育委員会	柳澤 弘蔵	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事
	内山みのり	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事
	山崎 巖	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事

第2回 長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

日時	令和5年10月23日(月) 18時00分～19時30分		
場所	長野合同庁舎 5階会議室		
出席 (敬称略)	西澤雅樹, 丸山陽一, 塚田まゆり, 茅野理恵, 小林勝彦, 尾島信久, 堀江三定, 伊藤羊子, 戸井田由奈, 西澤敏, 和田安雄, 鷺澤幸一, 岡正子, 宮下匡弘, 小林優, 江口康人, 小池勲, 横澤秀信, 平林洋一, 宮崎真以星, 桑原俊樹, 柳澤秀樹, 内藤信一, 丸山淳一, 小出淳, 山本俊介, 中澤由希, 宮澤美咲, 三澤秀樹, 寺嶋龍也, 小金典子 (以上31名)		
欠席 (敬称略)	塚田篤雄, 藤澤里美, 町田夢, 倉島在音 廣田昌彦, 白石芽生, 野村浩史 (以上7名)	傍聴者	7名
事務局	長野東高校	峯村教頭(事務局長), 柳澤教諭, 伊藤教諭, 栗原教諭, 齋藤教諭	
	長野吉田高校戸隠分校	小林教頭(副事務局長), 丸山教諭	
	長野高校定時制	功刀教頭, 北島教諭, 山本教諭	
	長野商業高校定時制	塩入教頭, 寺嶋教諭	
	長野西高校通信制	青木教頭, 傳田教諭, 野村教諭	
	県教育委員会	宮澤高校再編推進室長, 柳澤主幹指導主事, 池田担当係長 山崎主任指導主事, 内山主任指導主事	
当日資料	次第, 構成員名簿, 第1回懇話会まとめ, 講演会資料, 博多青松高校学校紹介リーフレット 席図		

会議事項

- (1) 第1回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会まとめ
- (2) 講演会「単位制・多部制・通信制の魅力について」講師 福岡県立博多青松高等学校長 工藤宏敏先生
- (3) 質疑応答及び意見交換

講演会での質疑応答(要旨) (→講師回答)

- ・定時制の先生72名と聞いたが、1人の先生の週の授業の持ち時間が何時間ぐらいあるのか。超過勤務が問題になるくらい多くないのか。
→週の持ち時間は最大で18時間。超過勤務に関しては、県に届け出る超過勤務者はほぼゼロ。部活動がほぼないので部活動による超過勤務がない。また、朝の決まった時間にホームルームがないので仕事内容はハードであるが、時間という面ではハードではなく超過勤務になることは少ない。
- ・主体的に学ぶ生徒が多い印象。主体的に学ぶ意欲があり単位制だから来たいという生徒を獲得するのに、開校時の生徒募集のメッセージはどういう生徒を待っているということで発せられたか。
→その哲学まではわからないが1期生から志願者が多かった。福岡県初のフレックス制導入、制服がないといったことが大きなインパクトであったと思う。
- ・スポーツを重視してこの学校を選択している例は多いと感じているか。
→スポーツのために本校に来る生徒はほとんどない。例えばJリーグの傘下のジュニアに行っているので全日制に行けないから本校に来る例は何件かある。全国大会に行っている生徒が部活動のために本校に来たわけでない。強豪校をやめてきた生徒がもう一度頑張っている状況。

その他

【次回】

日時：令和6年2月5日(月) 18時～19時30分
会場：未定
内容：再編対象校の学校紹介、意見交換 等

第2回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会講演会における構成員から寄せられた質問

および工藤先生からの回答

【1】 学校像・生徒像などに関する質問	
質問	回答
1 会場でも質問がありましたが、「どんな生徒に集まって欲しいのか」のメッセージをお聞かせください。	<ul style="list-style-type: none"> ・創立五年史に開校当時のキャッチフレーズが「学力も伸ばしたい、個性も伸ばしたい」とありました。27年前ですから「個性を伸ばす」というのは中学生にとって新鮮だったと考えます。 ・どんな生徒に集まって欲しいかという質問に対する回答は難しいですが、多様な生徒が「学び」「成長する」場所をつくりたいと考えています。
2 事例に挙げられたバレエの生徒さんのように入学前に文化芸術分野の技術の研鑽の時間を確保するために博多青松を選んでいる生徒さんの事例や状況、エピソードなど。	<ul style="list-style-type: none"> ・過去にはバレエ、ピアノ、劇団員、ウエイクボード、サッカーなどプロを目指すために本校に入学（転・編入学を含む）した生徒がいました。それぞれの活動と学業の両立を全員が果たしたわけではなく、退学した生徒もいますが、劇団員の生徒は現在、舞台やドラマ出演等で活躍しているそうです。
3 入学後に自由な環境で様々な勉強をするなかで文化芸術分野の進学をめざしていかれた生徒さんの事例や状況、エピソードなど	<ul style="list-style-type: none"> ・前籍校を退学し、2年間の引きこもりを経験したのち本校に入学した生徒の例ですが、入学当初は卒業だけを考えていたが、体調も回復し、本校の美術の授業で自身の才能に気づき国立大学の芸術学部合格した生徒がいました。ただ、技術面に関しては（入試科目対策も含めて）予備校に通うなどの対策が必要と思う。
4 スポーツ分野のお答えの際、スポーツで活躍する生徒が強豪校になじめず博多青松に入り直し、本人はむしろ過去の実績を黙っているが先生方に改めて才能を見いだされるとのお話を伺いましたが、文化芸術分野においても才能を認めてサポートくださる環境（先生方やアーティストなど指導者や学校以外の場）が博多青松の周辺にあるのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、定時制は美術・工芸が教諭2名、音楽が教諭1名、書道は非常勤講師が1名、通信制は美術が常勤講師1名、音楽が教諭1名、書道が常勤講師が1名と福岡県の他の学校と比較して芸術系の教員は充実している。学校外のサポート体制は学校としては整えていないので、予備校やスクールに通っているというのが現状。
5 カリキュラムが先なのか、生徒が先なのか、どちらがよいと思われますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒が主語」ということを考えると、生徒が学びたい・学んでみたい科目がすべてあるというのが理想ですが、教員定数の関係でそれは難しいようで、ある程度の型にはめないと授業が成立しないようです。ただ、教頭や教務主任にはその型をできるだけ緩めるように宿題を出しています。また、どの教科の先生方にも学んでみたいと生徒が思うような学校設定科目をつくりましょと投げかけています。
6 創立当初掲げた理念、目指した学生像が、27年間の時代の変化の中で理想と現実としてのギャップ、あるいは変化してきたことはありますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・Q1の回答にも書きましたが開校当初は「学力も伸ばしたい、個性も伸ばしたい」というキャッチフレーズで生徒募集をし、当時の進学実績から考えて、学力の高い生徒も多く入学していたと思われます。学力＝進学実績という定規も万能な定規とは思いませんが、人にとやかく言われるのではなく「自分で勉強したい」という生徒は少なくなったのではないかと思います。

【2】 生徒対応・指導・助言の様子に関する質問

	質問	回答
1	支援員同士の情報共有はどのようにしているのでしょうか。	・支援員同士の情報共有の場は設定していません。各支援員と修学部、担任等の情報交換は随時行っています。
2	一部から三部に渡り、様々な授業を受けている生徒さんに対するフォローはどのようにしているのでしょうか。	・相談しやすく、開かれた職員室は意識的につくっています。そのため多くの生徒が気軽に職員室に入ってきます。また、先生方の生徒に対する距離感は絶妙なものがあ、廊下や玄関ロビーで生徒の相談にのっている先生をよく見かけます。家庭環境等で学校生活が困難な生徒を発見したら、修学部を中心にチームで対応しています。
3	生徒さんは対面で相談する以外は何か方法があるのでしょうか。	・通信制の場合は電話による相談にも対応している。
4	生徒さんがキャリアを考える機会、相談体制はどうなののでしょうか。	・(機会) ガイダンス部主催の進路ガイダンスセミナーを実施している。また、多くの生徒がアルバイトをしているため、それぞれの職場の先輩の話などを参考にしている。 ・(相談体制) 基本は担任が生徒からの申し出を受けて対応する。必要に応じてガイダンス部につなぐなどしている。
5	少人数の方が助かる生徒の方がいたらどうするのだろうと疑問に思いました。大人数が苦手だと思うひともいるだろうと思うので、どうしているのかを教えてください。	・例えば、集会等では全体から離れた場所に席を設ける。体育などでは状況を聞いて活動が難しい状況であれば見学を許可することもある。

【3】 学校の制度設計に関する質問

	質問	回答
1	生徒の多様なニーズに対応するカリキュラムの内容とそれを確保する方法(他校のオンライン授業や地域との連携など)など	・オンライン授業は福岡県としてまだ取り入れていません。高大連携による単位取得が可能な大学については、本校は比較的多いのではないかと思います。多様なニーズ全てに応えるのは難しいと思うが、生徒が興味関心を持つ学校設定科目を増やしたいと考えている(各教科にお願いしている)。
2	授業の履修は、時間割に空きができるのか?	・もちろん空きができる生徒もいます。図書館、食堂、空き教室にいる生徒、近くの商業施設に行く生徒、様々です。
3	クラス編成は入学年度ごとか。年齢を勘案されているのか?	・欠席の多い生徒がひとつのクラスに集中しないように編成しています。クラス編成は新入生年次、在校生年次、卒業生年次で実施している(毎年クラス替えがある)。
4	レポート添削はオンライン、電子レポートなどは利用されていますか?	・全て「紙」です。オンラインや電子レポートは考えていません。
5	「生徒の多様なニーズに対応するカリキュラムの内容とそれを確保する方法(他校のオンライン授業や地域との連携など)などご教示いただければより単位制高校のイメージが湧くような気がしています。	・カリキュラムを大学入試や文系・理系で縛らないことかと思ひます。良かれと思って「やりすぎて」しまうと、生徒の成長を妨げてしまうという自覚を持ちつつ、できるだけ生徒が興味・関心を持つような科目を準備し、できるだけ生徒の自由に選択させる。(このことは単位制しかできないことかと思ひます)
6	新しく赴任されてこられた先生が、『学年制の方が良い』とおっしゃるとのお話しがございましたが、その理由は何でしょうか。	・どの業種でも同じかと思ひますが自分の考え方も含めバージョンアップすることに積極的な方が少ないということです。バージョン「アップ」で「ダウン」ではないので、先生方のキャリア形成に絶対役立ちますよと面談等で粘り強く話をしています。

【4】 職員の勤務等に関する質問

	質問	回答
1	先生へのフォローはどうしているのですか？	・私は努めてニコニコするようにしています。
2	通信制と定時制の職員配置はどのような体制になっていますか？	・全く別の学校と考えてください。同じ屋根の下に2校学校があります。
3	定通兼務の職員はいるのか？	・いません。

【5】 その他

	質問	回答
1	職員と保護者との対話の場はありますか？	<p>・生徒、保護者、担任の3者面談は年に1度です。7月に実施しています。生徒、担任の面談は年に2回4月と10月に実施します。その中で必要が生じれば保護者も含めて面談をすることもあります。</p> <p>・その他に11月実施の授業参観週間にて保護者教師会(PTA)主催の保護者懇談会を実施しています。この懇談会は保護者教師会の役員の保護者がその他の保護者の相談にのる形式となっています。保護者目線で意見交換ができるということで好評のようです。</p>
2	地域活動への参加機会はありますか？	・地域活動への参加は学校としては特に行っていません。部活動として地域のお祭りに参加している程度です。
3	生徒さんは実際にどの程度単位を取得を取得して卒業しているか。	・74単位から80単位くらいが多いようです。また、通信制の生徒の多くは74単位取得を目指すということで授業を選択しています。
4	<p>不登校の学生さんが増加傾向にあるとお話がありましたが、現在定時制、通信制ともに、主体性を持ってトライして行く学生さんと不登校の学生の割合はおおよそどのくらいでしょうか？</p> <p>また、その両者の学生さんが同じ環境の中で時間を共にすることで生まれるメリット、デメリットはございますか？</p>	<p>・中学時代の年間欠席が30日を超える生徒を不登校経験者とした場合、定時制が4割程度、通信制が6割程度と考えます。それ以外の生徒が主体性をもって・・・となるかどうかは分かりませんがそう考えてもいいかと思います。(本校の場合は、福岡県ではごく稀な(県内の単位制高校4校のみ)制服のない学校であり、校則もない学校、加えてアルバイトも制限のない学校ですので、そのことで 入学してきた生徒も一定数いると思います。)</p> <p>・様々な生徒が同じ空間で教育活動をするということのデメリットはあまり感じません。他者をつながりたい生徒は、生徒会や部活動を利用してつながっていますし、つながることが苦手な生徒は、いわゆる「同調圧力」のあまりない学校生活をそれなりに楽しんでいるように思います。</p> <p>・単位制高校のメリットを最大に活かすことで、運動部や文化部の活動は今まで以上に盛んにできるような気がします。ひとつはクラスという概念が学年制の高校より薄まるので、部活動の顧問の影響が大きくなると思います(危険性もありますが・・・)。時間割の面でも例えば駅伝をやる生徒は2部に所属させることで、朝練習や午後からの練習がやりやすくなると思います。ただ、全部の部活動がそのような実施は難しいかと思いますので、指定部活動になるかと思います。</p>

第2回長野東スーパーフレックス新校再編実施計画懇話会講演会における
構成員から寄せられた感想

1	・不登校はじめ種々事情のある子にとって、単位制・定時制の高校は、様々な可能性や選択肢を広げられる場所であると、改めて認識させていただきました。
2	・少しでも早くスーパーフレックス新高校を開校していただきたいです。
3	・十人十色な多様な生徒が在籍する中で、生徒を信じて学校運営を行うことのご苦勞と大切さを実感させていただきました。
4	・自己選択、自己実現をしっかりと示し、生徒の自由度を推進している事に驚きを持った。 ・都会ならではの立地と交通の利便性の良い事、生徒の集まり易い環境にあるのでは無いかと思う。地方都市では交通の利便性が問題になりそうな感じがする。 ・高大連携事業は良く考えられた事業であるが、大学の数が多い都市であることが可能にしていると思われる。 ・定時制、通信制ともに進学率の多さに驚きを持った。
5	・工藤先生のお話を伺い、入学志願者が多いことに今後の希望を持ちました。従来型の学校生活になじめない子どもたちが新しい環境を求めていることを改めて実感した次第です。
6	・球文大会、学校行事のエントリー性が面白いですね。球技だけではないのもとてもいいですね。一部から三部があることで、入り口が広がっているのがいいなと思いました。 ・修学支援体制はとても重要だと思いました。その点しっかりフォロー体制ができること、素晴らしいと思います。 ・お話にあったように異動されてきた先生にとっては、この単位制を生かすやり方をどうするか？は結構課題なのではないかと思いました。先生の負担感、逆に特長を生かすフォロー体制の検討は大切かと。 ・選びたいと思えるそんな学校だと思いました。強豪校をやめた生徒さんのフォローいいですね。先生のモチベーションのあげ方とても気になります。
7	・フレックスのイメージがよくわかった。不登校の受け皿となりつつ、進学校でもある存在が、生徒にとって学びの選択肢を的確に提供しているのだと思う。科目選択や校則のないルールの指導などオペレーションの難しさはあるのだと思う。
8	・27年前に福岡県立として創立された博多青松高等学校様の事例は大変勉強になりました。工藤校長先生ありがとうございました。 ・質問ではございませんが、当時まったく新しく創立された博多青松高等学校様の事例をお聞きし、検討している長野東スーパーフレックス新校の場合は現在の東校の文化、伝統を引き継ぐものか全くゼロスタートとなるものなのか少し気になりました。
9	・県教委は今回講演をされた博多青松高校が長野東新校のイメージに近いのでしょうか。私はあまりにも生徒数や予算規模、または立地条件、交通事情が違いすぎるため、新校構想にマイナスイメージを持ってしまいました。今後の懇話会ではもう少し規模の近い学校の事例を提示していただきたいです。
10	・博多青松高校の工藤校長先生から示唆に富んだお話を伺いました。生徒数の多さにも驚きました。定時制の課題にありましたが、「多様な生徒に対応できるカリキュラムの構築」は長野東においても課題になってくると考えられます。カリキュラムが先なのか、生徒が先なのか、その辺が柔軟に対応できる新高になるといいなと思いました。ありがとうございました。

11	<p>・学校の紹介動画を視聴し、学校の立地条件の良さや施設、設備、学生食堂など、ハード面の充実が伝わってきました。新校を作る上でこの点は重要だと思いました。また、3部制や単位制により、科目も時間帯も、生徒が自由に選択できる授業を用意している点が興味深く、十人十色の高校生活をクリエイティブにできることが魅力だと感じました。ある意味で大学に近い高等学校であり、生徒の自立を教育課程全般で支援している学校であると思います。中学時代に、人間関係や同調圧力等で苦しんだ生徒にとっては、個人の選択が保証され、大変過ごしやすい環境だと思います。生徒の中に潜在している隠れた能力が高校で輝く可能性がある環境であると感じました。工藤校長先生には、遠方よりお越しいただき、貴重なお話を伺えましたことに感謝申し上げます。</p>
12	<p>・単位制・多部制・通信制の魅力についてお話を聞き、生徒の得意な分野について生徒自身が深め探究できるように授業を選び、不得意な分野では基本的なところから学べるのは生徒の思い、考えによく対応できていて良いと感じました。単位制では不登校であった生徒も受け入れて、その人が過ごしやすと感じることにできるように環境を整えてあげるのは生徒一人一人に向き合っていると感じ、素晴らしいと思いました。しかし、お話をお聞きした中で私の意見・考えとしては大変な思いをしてつらかったことがあった不登校生徒さんを支えるのは良いことだと思いますが、校則がなく、登校時間も少し緩めと感じました。このことは、生徒が成長して社会の一員となった場合、社会の厳しさや大変なことも多くあると考えられます。そうした中で高校生時の生活や大学からの生活から大きく変化すると考えられ、そうなると、不登校生徒さんは再度、辛い思いをしてしまうと思うので、その部分は少し考えてみるべきだなと思いました。学校全体の取組みは私が知らないことも多く大変魅力的なものでした。この計画がとても興味深いと感じさせられたので、有意義な時間でした。ありがとうございました。</p>
13	<p>・初めから授業を自分から決めたりなど、自分で決めるのは今までにないことで生徒の人たちからすると分からない不安があると思います。それでも先生が支えてくれたりなどで自分で決め、1年ずつで授業で自分が何をしたいなどを自分で考え決めるのは自律にも関わることで、自由な高校だからこそ、自分でやりたいことをやり、将来のやりたいことのための準備、学校行事などもたくさんあり、充実した学校生活での思い出となり、遅刻したら授業に入れないなども厳しいところは厳しくなど将来、社会の一員になったら大事なこともしっかりしていて、授業もオール英語や海外への学習活動など、とても素敵だと思いました。やりたいことのために色々学べるというのが本当にできそうでできないことなので、聞いているときにびっくりしまっていました。通信を選んでも希望すれば定時の授業を受けられて、その逆もできる事なども、素敵で新しく入った先生の方々は、ほぼ学年制からの人がほとんどなので、意見が学年制にひっぱられてしまうなか、単位制を活かすためにどうにかしようとしているということも生徒の人達からすると、助かることで、ほんとうに素敵だと心から感じました。</p>
14	<p>・今、私が通っている長野商業高校と人数や学びの幅がおおきく違い、多様性を多く取り入れていて、凄いと感じました。どうしても、学年制である全日制と単位制では、出来ること出来ないことがでてくると思ったのですが、単位制のメリットを全面に生かしながら広い範囲で学べる事が出来ていて、とても素敵な学校だと思いました。生徒の数が先生より大幅に多いためサポートが難しい部分も出てくるんだと思いますが、これからの生徒さん達のためにも、今、通っている身として、考えていきたいと思いました。</p>
15	<p>・本日はありがとうございました。やりたい事があったり、学びたい事がある生徒にはとても良い、自分のスタイルで学べる場所ではないかと思いました。その点では良いと思います。ですが、それに対応できない生徒など、人とのコミュニケーションを学ぶ必要のある生徒などは少し難しいのかな、と思います。私のクラスも毎日顔を合わせますが、コミュニケーションを取れるようになるまでに一年近くかかりました。現在はみんなで会話をしたり楽しくできるようになっていますが、その為には時間をかけ、お互いを知り、気を使うことを学ぶ必要もあると思います。そういう人達の学ぶ場があると良いと思います。</p>

16	<p>・工藤先生のお話をお聞きし、フレックス高校の実情を聞かせていただき、具体的なイメージが描けました。特に、普通科以外の情報科学科を設置されていることがわかり、長野東新校にもスポーツ科など特色ある学科が設置できることがわかりました。今後の議論の参考にさせていただきます。貴重なご講演の設定ありがとうございました。</p>
17	<p>・博多青松高校についての話は可能性に満ちたとても希望にあふれたものでした、お聴きできてよかったです。まず、所在地の利便性が良い。駅から徒歩圏内であることは非常に有利であり、魅力です。入学志願状況を見て、倍率に驚きました。この中をかいぐって入学することは、イコールプライドにつながると思います。</p> <p>・50%ルールはわかりやすい仕組みです。</p> <p>・高大連携事業が存在することが、素晴らしい。高い目標を持つ生徒が顔上げて前に進むためのシステムがたくさんある。</p> <p>・どうしても職員が慣れ親しんだら学年制の方へ引っ張るという話面白かったです。</p>
18	<p>・本日はありがとうございました。これまでも、新校のあり方について議論を進めて参りましたが、どこかイメージがつかず漠然としていた部分がありました。しかし、本日の講演を通してフレックス校の実情がわかり、曖昧だった部分が少しずつ明確になってきました。自らの意思で多くを決められるという事は、自由であると同時に一部の生徒にとっては大きな負担になるように感じます。0から高校ができ、その道を選んだ生徒であれば自由の部分の利点を大いに活用できると思いますが、今回の統合という形で学校ができる場合であれば負担を感じる生徒も多くいると推察されます。そのような生徒をサポートする体制を充実させるような視点も重要なのではないかと感じました。今回の講演で得た感想を組織委員の方々と共有しながら、より議論を深めていきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。</p>
19	<p>・工藤先生には、博多青松高校の現状を率直にお話しいただき、感謝申し上げたい。実際に学校がどのように回っているのか、イメージすることができた。定時制、通信制の自由な横断については、これからの課題だとおっしゃっていたが、長野東SF新校で可能にするためには、周到的な準備が必要になるのだろうと考えさせられた。</p>

長野東スーパーフレックス新校（仮称）の学校像として考えられる姿

多部制

【午前部・午後部・夜間部】

時間	所属	午前部	午後部	夜間部
1限	所属	受講可能	所属	受講可能
2限				
3限				
4限				
5限	受講可能	所属	所属	受講可能
6限				
7限				
8限				
9限	所属	受講可能	所属	受講可能
10限				
11限				
12限				

所属変更可能

通信制

【新たな通信制】

添削指導



面接指導



テスト

(希望により)

週1日

～

週5日

- ・探究活動
- ・地域連携
- ・部活動等

単位認定

所属自由

組合せ自由

学び方自由

学習の個別最適化

EdTech活用

地域と協働した学び

校外活動・資格取得等

卒業単位認定

スポーツ・芸術活動等

本格的な取り組み

多様な生活・学習スタイルに応じて、フレキシブル(柔軟)に『学びをマネジメント』



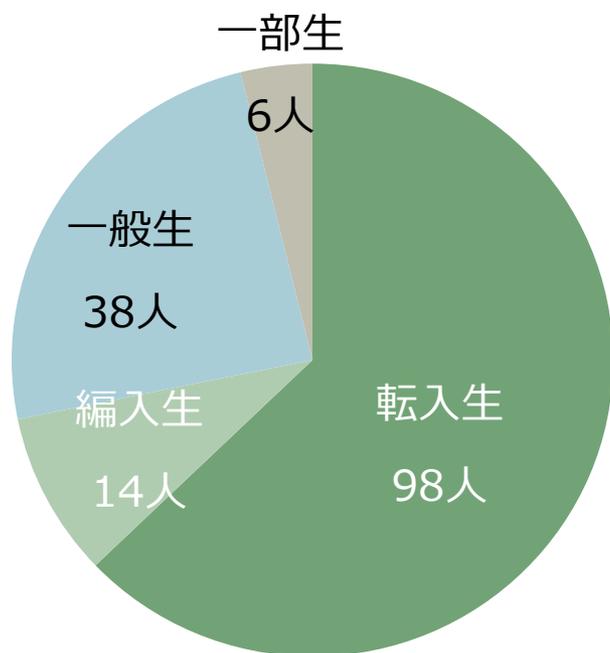
いつでも
どこでも
だれでも



長野県長野西高等学校 通信制

入学生の構成(本校のみ)

入学生の概要 (2023年度入学生：156人)



転入生 他の高校から転入学した生徒

編入生 高校を退学してから入学した生徒

一般生 他的高校を経ずに直接中学から入学した生徒

一部科目履修生 卒業を目的とせず、一部の科目について学習する生徒

在校生・職員人数(本校のみ)

在校生

	男	女	計
1 学年	31	49	80
2 学年	29	47	76
3 学年	41	75	116
4 学年	56	78	134
一部生	5	1	6
計	162	250	412

職員

29
(含非常勤講師 5)

◎ 籍があるが本年度登録していない生徒を含めると、在籍生は631名

通信制に対する3つの誤解

1. 通信制を卒業するのは簡単である
2. 通信制は授業に出なくてもよい
3. 通信制は規則がなくて自由だ

全部
間違い！

入学生に対する卒業生の割合 (%)

	一般生	転入生	編入生	全体
2016年度	56.5	61.8	40.9	54.5
2017年度	34.8	63.1	58.3	57.3
2018年度	43.2	58.9	48.4	52.9
2019年度	44.4	63.2	39.3	54.3
2020年度	34.5	52.3	41.7	46.8

生徒の肯定的な評価

Q. 学校の雰囲気はよいですか？

	よい	まあまあよい	あまりよくない	よくない	どちらとも言えない
人数	52	94	9	0	18
%	30%	54%	5%	0%	10%

2023年度学校生活アンケートより（回答数：173）

Q. 学校は楽しいですか？

	楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	どちらとも言えない
人数	34	87	8	9	35
%	20%	50%	5%	5%	20%

2023年度学校生活アンケートより（回答数：173）

卒業の条件

- 3つの条件 -

1. 必履修科目を含めて74単位以上
修得すること
 2. 特別活動に30時間以上参加すること
 3. 高校在籍期間が3年以上であること
- 卒業

本校通信制は単位制②

- 前籍校で修得した単位 -

前籍校で修得した科目と単位数はそのまま本校で引き継ぎます

前籍校で28単位修得して入学した編入生のBさん

前籍校で28単位

3年生で30単位

4年生で16単位

→ 計74単位

1年間で新規登録できる単位数は最大30

単位の修得

その科目の

1. レポートすべて合格

2. 決められた授業数出席

3. すべての試験に合格

→ 単位修得



レポート

-レポート合格まで-

〈生徒〉



〈先生〉



レポート作成

間違えたところを
やり直し

期日までに学校に提出

添削

返却

再提出

合格するまで繰り返す

スクーリング①

- 必面時間 -

必面時間 = 必要面接時間
= 出席しなければいけない時間数

必面時間の例

現代の国語	2時間	(年間授業数6回)
公共	2時間	(" 6回)
科学と人間生活	12時間	(" 18回)
体育1	10時間	(" 15回)

実技科目等
は必面時間
が多い

スクーリング②

- 日曜日が登校日 -

日曜日のスクーリング = 日 面
(日曜面接)



基本的に日曜日に登校し、面接授業に出席

※面接授業 = 授業のこと



スクーリング③

－小諸面接・学習会－

本校面接以外の面接

- 小諸面接（年3回）
- 本校特別面接（年7回）
- 学習会（6地区で延べ38回）
- 個人面接
- NHK高校講座視聴



スクーリング④

一日課表(日面・月面)-

第1時限	9:10~10:00
第2時限	10:10~11:00
第3時限	11:10~12:00
S H R	12:10~12:20
清 掃	12:20~12:30
昼休み	12:30~13:15
第4時限	13:15~14:05
第5時限	14:15~15:05
第6時限	15:15~16:05

- 1時限から6時限まで在校する必要はない。
- 空き時間がある場合は、自習室でレポート作成。
- SHRはなるべく参加する。

試験

- 定期試験 -

- A 範囲 (1学期に相当)
 - B 範囲 (2学期に相当)
 - C 範囲 (3学期に相当)
- 定試は各1回

◎ 定められた範囲のレポートを提出すると受験できます

- ・ レポートを期限までに提出できなかった
- ・ 定期試験を受けたが不合格になった

1) 2) 3) 4)



特設試験を受験して合格を目指す

特別活動

特別活動に30時間以上参加すること

II

学校行事・信友会（生徒会）活動・SHRなど

入学式	3時間
始業式	1時間
弦月祭	2時間
人権教育	1時間
信友会選挙	1時間
SHR(3回)	1時間
⋮	

前籍校で

+	1年在籍	10時間
	2年在籍	20時間

卒業までに
→ 30
時間参加

信友会活動①

- 信友会行事 -

信友会活動が充実しています

II

本校通信制の生徒会

弦月祭

- 通信制単独の文化祭
→ 今年で14年目
- “弦月祭”と命名
→ 今年で12年目
- 生活体験発表会、ステージ発表、全校製作他



信友会活動②

-クラブ活動-

バドミントン部

今年北信大会で優勝し、北信越大会に出場しました。



マンガ・アニメクラブ
弦月祭での発表です

◎ この他に音楽クラブ・美術クラブ・ボランティア部・卓球部があって、日曜日の放課後に活動しています

在籍期間

高校在籍期間が **3年以上** であること

◎ **74単位修得するにはどうしても3年かかります**

前籍校1年間で30単位修得して入学した編入生のCさん

本校3年生で30単位修得（1年で30単位まで）
本校4年生で14単位修得 → **計3年で卒業**

卒業後の進路

四年制・短大	約10名
通信制大学	数名
専門学校	10～20名
新規就職	約10名
その他	約50名

幅広い年齢層・学習
歴・現在職の有無



卒業後の進路は多岐



||

家居・子育て・現職継続など

進学 - 進学の特徴 -

校内で模擬試験を実施（年5回）

総合型選抜・自己推薦入試への挑戦が増加

大学入学共通テストを受ける生徒もいる
一般入試で合格する生徒もいる

→膨大な家庭学習が必要

専門学校進学は資格・就職に直結した
方面が多い

就職 - 就職・求人状況 -

ハローワークの求人票で就職先を探す
(本校通信制は普通科なので学校指定求人はない)

9/16から就職試験開始 (全日制・定時制と同じ)

→ 何度落ちてでもくじけずに試験を受ける強い気持ちが必要、一般教養力・作文力・面接力

◎ 卒業の先を考えて力をつける！



いつでも
どこでも
だれでも



長野西望月サテライト校について

NAGANO-NISHI HIGH SCHOOL CORRESPONDENSE COURSE

高校改革の動き①

第1期高校再編計画

望月高校が、H28・29年の2年連続で再編基準に該当

第2期高校再編計画

第1期再編計画の対象校である望月高校を廃止し、長野西高校通信制サテライト校設置を決定

通信制の改革について（「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」より）

- 多様な背景を持つ生徒たちの新たな学びの場として必要性が増加
- 個に応じた通学の形態、ICT等を活用した主体的な学び、地域活動への参加による体験的な学び等、自己の可能性を伸ばす環境整備が可能
- 個々の生徒のニーズに応じた通信制教育のあり方や仕組みの研究、サテライト校の導入など通信制教育の充実・拡大を図る

高校改革の動き②

令和2年(2020年)4月

長野西高校望月サテライト校開設

- ◇高校改革における **「通信制改革の実践校」**
県下初の公立通信制
サテライト校として
開設



2 生徒状況

在籍生徒数(学年別)

	男	女	計
1年	19	15	34
2年	22	28	50
3年	19	16	35
4年	15	21	36
計	75	80	155

*未受講生

22

22

199

(参考) 在籍生徒数 R2:78→R3:130→R4:191→R5:199

在籍生徒数(年代別)

年代	~19	~24	~29	~34	35~	計
人数	140	8	2	2	3	155
%	90.3	5.2	1.3	1.3	1.9	

※未受講生除く

2 生徒状況

在籍生徒数(出身地別)

	佐久	小諸	北佐久	南佐久	小計
			立科・御代田・軽井沢	佐久穂・小海・南北相木・川上	
人数	72	21	15	3	111
%	46.5	13.5	9.7	1.9	71.6

	上田	東御	その他	小計	合計
人数	22	18	4	44	155
%	14.2	11.6	2.6	28.4	

(参考)
望月高校廃止前の
5年平均6.6%
(H28~R2)

※未受講生除く

R4 卒業生の進路状況

【卒業生35名】

	大学	短大	専門	就職	その他	計
人数	3	2	10	8	12	35

※進学先：中央大学、清泉女学院大学、松本大学、上田女子短期大学 等

※就職先：（株）ミマキエンジニアリング、（株）八ヶ岳高原ロッジ 等

※その他：家居（育児等）、現業継続、就職活動継続

学びの特色

1 最大週5日登校可能

自分の生活・学習スタイルに合わせて登校

2 個別最適な学び

AI教材の活用、多様な選択科目の開設

3 地域と協働した探究的な学び

学校設定科目「キャリアI～V」

週5日のプログラム

曜日	内容
月	面接授業 (必履修科目等)
火	面接授業 (選択科目 (SBS等))
水	面接授業 (必履修科目等)
木	面接授業 (選択科目 (キャリア))
金	特別活動 (自由参加)

同月・水は
授業は

個別最適な学び

◆ AI教材（すらら）の活用

- 中学までの学び直し、大学入試に向けた学習等

◆ 多様な選択科目の開設

- 個別最適な学び（SBS） ※SBS=Step By Step

SBS国語、 SBS数学、 SBS英語

- 大学入試に対応した科目

数学Ⅲ、物理 等



学校設定科目「キャリア」

科目	テーマ	主な内容
I	環境	花壇の整備、ごみ処理場の見学 等
II	自然	ゴルフ場・馬事公苑・農場での体験 等
III	福祉	幼稚園・保育園・高齢者福祉施設での実習 等
IV	歴史文化	中山道踏破、比田井天来と書、雁喰い味噌かつ丼 等
V	進路	進路ガイダンス、就業体験、面接試験対策 等



4 本校の学び

12

特別活動



その他(R4取組みの一部)

○特殊詐欺撲滅CMプロジェクト

望月有線放送、佐久警察署との協働プロジェクト

○“まるキャン”への参加

(佐久平地域まるごとキャンパス)

地域を盛り上げる14のプロジェクト (NPO等主催)



<https://saku-marucam.net>

○まちの縁側講座への参加 (12月)

※本校地域連携協働室で開催

まちづくりプロジェクト (浅科・望月地域包括支援センター主催)

新たな取組み

ブックリサイクル



SAMUカフェ



NPO法人 侍学園
スクオーラ・今人

SAMUカフェ OPEN!

5/15(月)・24(水)

場所：オアシスルーム

時間：12:15~15:15

「SAMUカフェ」とは…?

- サテライト校内の「サードプレイス(第3の居場所)」
- ホッとできる場所、だれかにつながる場所、それが「SAMUカフェ」です

恋バナ
進路のこと
趣味の話

佐久大学との連携

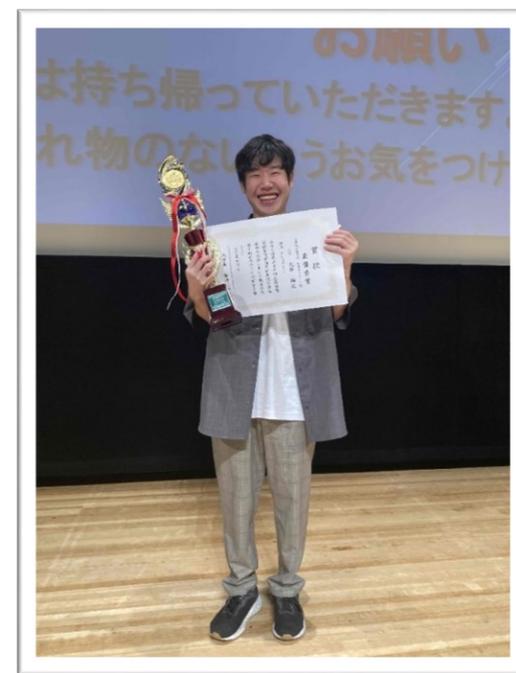


生活体験発表大会

令和4年度

県大会 **最優秀賞**

令和5年度

全国大会 **読売新聞社賞**北信大会 **最優秀賞**

ポジティブな通信制の選択

将来はプロの世界で活躍したい

ゴルフの県ジュニア選手権で優勝

浅田 ^{あやな}彩七さん(長野西高校望月サテライト校1年/上田市・第四中出身)

5月に行われた県ジュニア選手権15-17歳の部で優勝することができました。中2の時に一つ年少の部で優勝し、昨年は全国大会も経験していますが、高校で強い先輩たちに勝てたことはうれしかったし、自信につながります。

小学3年の時に地域のスポーツ少年団でゴルフを始めました。うまくいかないこともたくさんあるけど、いいプレーができたり、競技の成績が上がったりするのが励みになっています。練習は質の高さを重視し、集中して行っています。

通信制課程の高校を選んだのも、ゴルフに集中したいからです。近い目標は、今月が国体の県代表予選、7月には全国大会につながる関東ブロックの大きな試合が二つあるので頑張ります。そして高3でプロテストを受け、プロの世界で活躍したいと思っています。



地域とともに

望月サテライト校 開設3周年記念植樹

(R5.5.11)



望月サテライト校が「**地域と共に益々発展すること**」を祈念して、地域連携協力隊を中心とした地域の皆様と一緒に4本のソメイヨシノの苗を植えました。



長野商業高等学校 定時制

「単位制」について

長野県スーパーフレックス新校再編実施計画 懇話会 (令和5年12月19日)

長野商業高等学校 定時制教頭 塩入 孝一

過去のつまずきから
立ち直るためには……

2度のドロップアウトを
起こさないためには・・・

自分のやりたいことを
優先させながら高校を
卒業するためには・・・

そのような学校生活を
送るキーワードは・・・



单位制

无学年制



【単位制の整理】

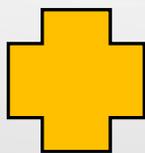
- ◆ 過去に履修・修得した単位が活かせる
- ◆ 授業以外にも単位取得が可能
- ◆ 無学年制
- ◆ 修業年限は3年以上
- ◆ 2学期制による半期認定・分割履修
- ◆ 自分のペースで卒業を目指せる(個人の時間割)
- ◆ 授業ごとに学ぶ仲間が変わる(選択した科目の教室)
- ◆ 学校行事は任意で参加

なぜ長商定時制なのか

～学校選択の理由～

【定時制】

- ◇小人数
- ◇直接指導してもらえる
(自分でやる自信がない)
- ◇学校生活を送れる



【通信制】

- ◇過去の取得単位が活かせる
- ◇毎日登校しなくてよい
- ◇自分のペースでできる

【カートレーサー生徒の本校選択理由】

- ◆年間10～20レースに参戦するのに
全日制では厳しい
- ◆午前中にアルバイトの時間が取れる
- ◆通信制も検討したが・・・

【生徒の一般的な時間割】

【1年目】

	月	火	水	木	金
特設授業1	C英語 I	書道 I	ジョブ リサーチ	生物基礎	家庭総合
特設授業2					
1時限	数学 I	政治経済	数学 I	C英語 I	保健 (前期) 総合的な探究 (後期)
2時限					
給食(弁当)					
3時限	国語総合	国語総合	情報処理	国語総合	社会と情報
4時限	体育	体育			

【2年目】

	月	火	水	木	金
特設授業1	科学と 人間生活	地理総合		現代文B	総合的な探究
特設授業2					
1時限	政治・経済	公共	総合的な探究 (前期) 保健 (後期)	家庭総合	歴史総合
2時限					
給食(弁当)					
3時限	C英語 II	C英語 II	国語表現	国語表現	論理・表現 I
4時限	体育	体育	体育	体育	

【3年目】

	月	火	水	木	金
特設授業1	古典探究	マーケティング		文学国語	
特設授業2					
1時限	保育基礎	古典探究		総合探究	国語表現
2時限					
給食(弁当)					
3時限	C英語 II	C英語 II		ビジネス基礎	
4時限	体育	体育			

【授業以外の単位認定】

高等学校卒業程度認定試験の合格科目

長野西高校通信制との併修

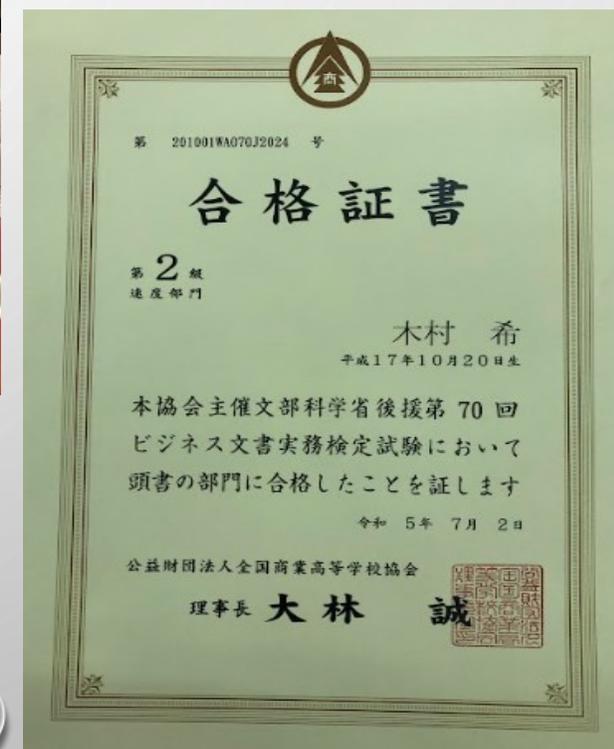
キャリアチャレンジプログラム(就業体験)

技能検定

・漢字検定

・英語検定

・ビジネス文書検定 等



過去在籍高校での取得単位

【特別活動のポイント化】

学年行事やHR活動がないので、
学校行事を通じて特別活動を経験
させる目的でそれぞれの活動にポ
イントを付けて卒業要件としている

◆卒業までに74ポイント以上取得

※有単位入学生は74ポイントから

既修得単位を減じた数

◆4ポイント:時間が1日かかるもの
生徒生活体験発表大会・修学旅行(13)

◆3ポイント:学校として有用なもの
芸術鑑賞・進路説明会・保健講話

◆2ポイント:比較的全員参加のもの
交通安全教室・体育大会

◆1ポイント:年間14回の大掃除

【単位制・無学年制のメリット】

- ◆人に合わせず自分のペースで学べる
(自由に時間割を組むことができる)
- ◆過去の履修・修得単位を活かせる
- ◆学ぶグループが固定化しない
- ◆留年はなく、**頑張った積み重ねで卒業**

【本校で頑張っている生徒が考えるメリット】

◆人に合わせず自分のペースで学べる

(決められたのではなく自分で選択できる)

◆小人数である

(プレッシャーが少ない)

◆学ぶグループが固定化していない

(人間関係を自分で選べる)

単位制・無学年制の最大のメリット

【学年制】

設定したハードルに達しているか？



達成できていないところを見る
(生徒のマイナスを見る)



自己肯定感を持ちづらい

【無学年制】

出来たことは？・・・を積み重ねる



出来たところを見て認める
(生徒のプラスを見る)



自己肯定感を持ちやすい

【単位制・無学年制で不安に思われること】

- ◆HR活動等がなく社会性は身につくのか？
- ◆嫌なことを避け、能力は身につくのか？
- ◆空き時間の生徒の行動は大丈夫か？

【単位制・無学年制の課題】

- ◆柔軟な履修選択のためには講座数（**教員定数**）が必要
- ◆HRがないので生徒の動向把握や連絡の仕方の工夫
- ◆易きに流れやすい生徒には緊張感を弱くしているため
自己統制の効かない生徒への指導

ご清聴ありがとうございました